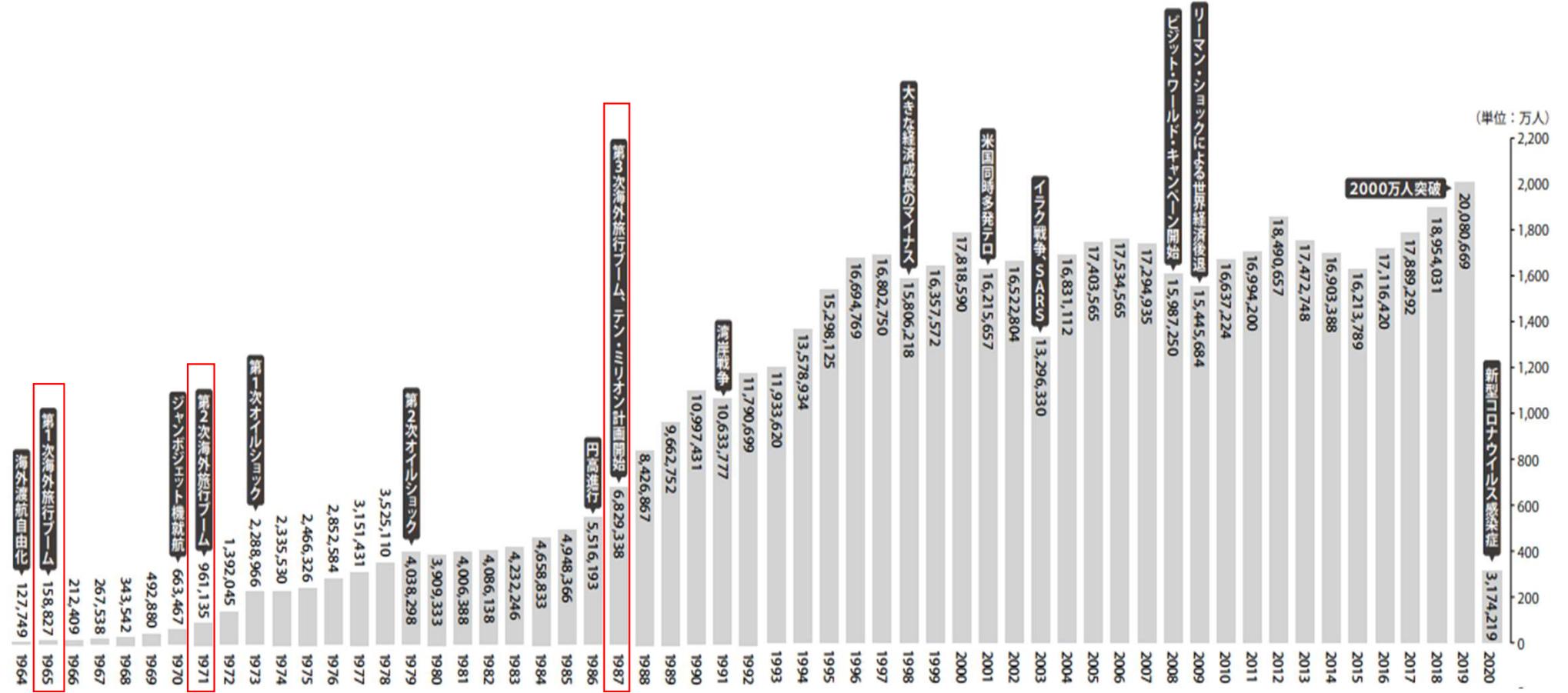


# 日本人海外旅行者数推移



旅の主役の変化

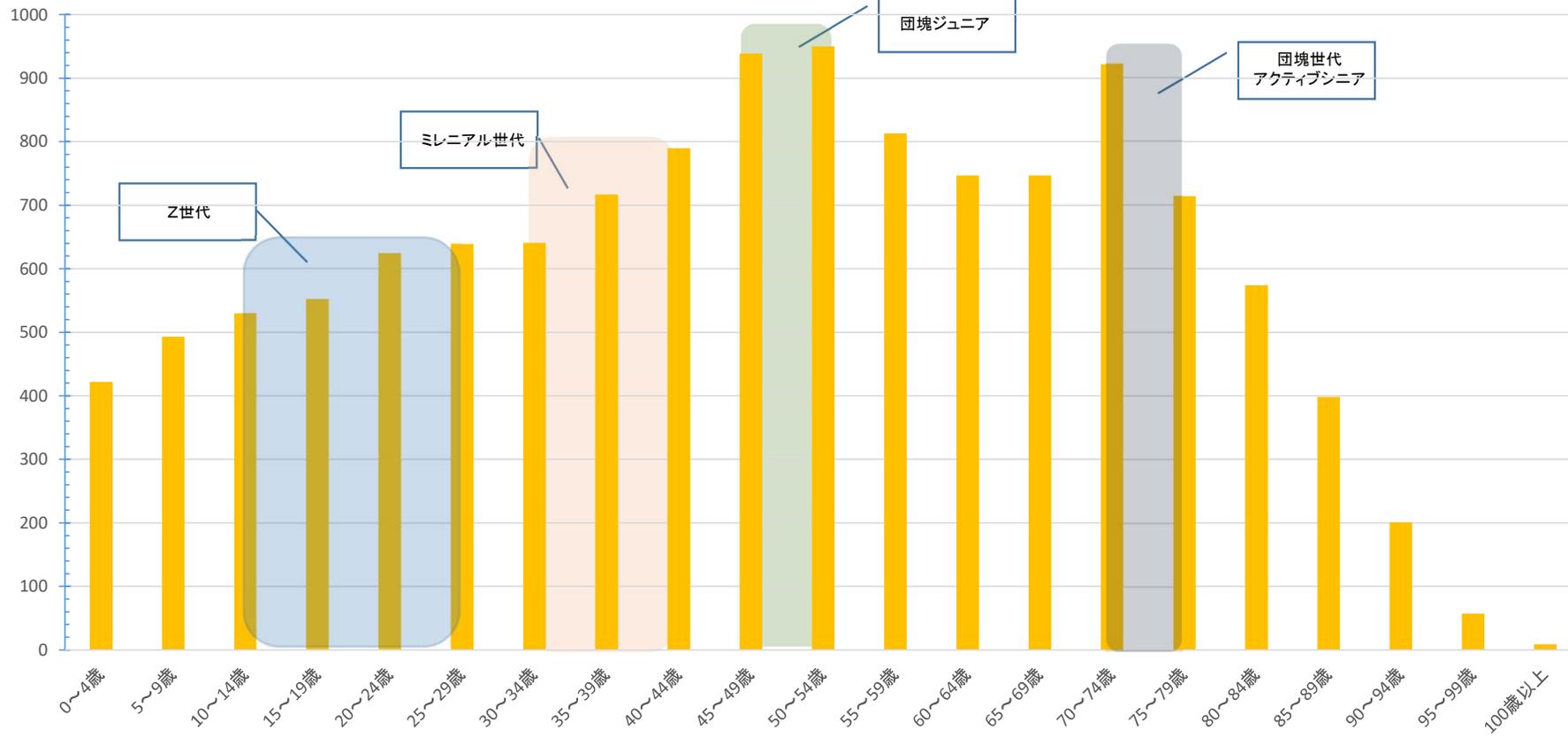
- 1964-1971: 海外渡航自由化 → 第1次海外旅行ブーム → 第2次海外旅行ブーム
- 1971-1979: シェンゲンゾーン機就航 → 第1次オイルショック → 第2次オイルショック
- 1979-1987: 田舎旅行 → 若い女性が海外ブランド購入、大学生の卒業旅行
- 1987-2003: 母と娘
- 2003-2020: シニア団塊世代再び

出典：数字が語る旅行業2021(JATA発行)

# 日本の人口動態(2023年1月時点)

日本の人口動態(2022年1月概算値)

単位: 万人

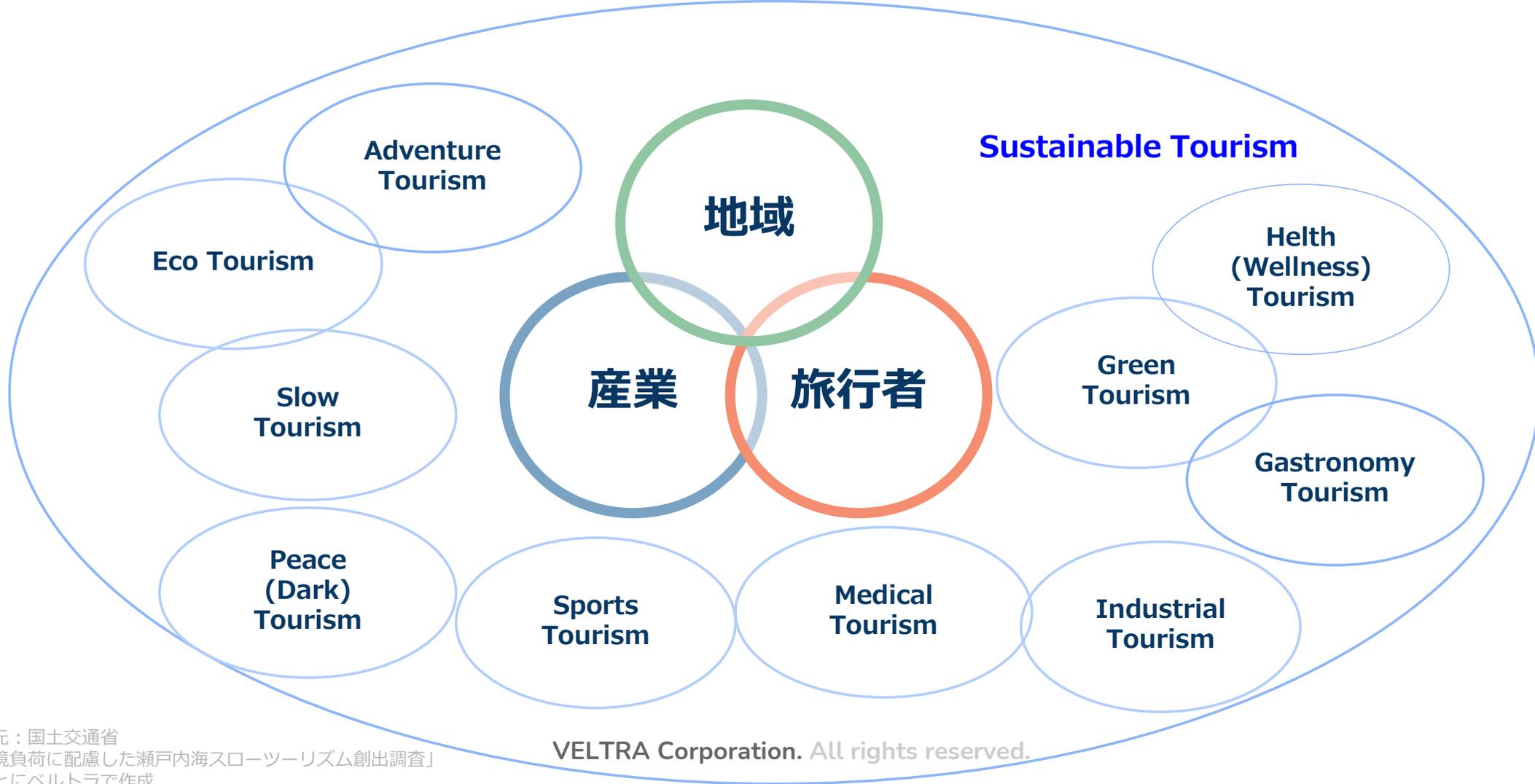


総務省統計局 2022年1月報

海外旅行をけん引してきたアクティブシニアも75歳に達し、長距離旅行を敬遠する予想。低成長期、失われた10年などを潜り抜けた団塊ジュニアは財布の紐も固く、海外旅行はしてこなかった。海外に出かけない親を持つミレニアルやZ世代は、海外旅行への関心は低いと想定される。

# 単なる旅行からツーリズムへ

訪れた土地を消費観光するのではなく、テーマ性のある目的を持った「体験」でWin-Win-Winの関係を。



引用元：国土交通省  
「環境負荷に配慮した瀬戸内海スロートーリズム創出調査」  
をもとにベルトラで作成



## 日本

- ・数日(短期)の「余暇」
- ・頑張った自分へのご褒美
- ・「体験」より合理的な「観光」メイン
- ・非日常を求めるリフレッシュ
- ・「引退したら世界旅行？」

「仕事」や「学校」の日常生活の中心であり  
旅行は休暇日数、人生の中のほんの一部



## 世界

- ・長期休暇
- ・旅を中心に考える人生
- ・家族との旅は「授業」とみなされる「育成」(英・仏)
- ・家族の大切なイベント、リレーション強化
- ・次の「旅行」が日々の生活のモチベーション

人生の中心に「旅」があり、  
旅行は人生を彩るための最重要エッセンス